

我が社の雇用事例



株式会社 **リョーサン**



お客様の満足を第一に考える
物流企業をモットーに

企業DATA

代表者	代表取締役社長 桂田 智生
所在地	〒675-0155 兵庫県加古郡播磨町新島3番地
従業員数	247人 障がい者12人 (内訳：身体障がい者6人 知的障がい者3人 精神障がい者3人)
URL	https://ryosans.co.jp/
事業内容	アメリカ・ヨーロッパ・アジア各国、日本国内のお客様向けのグローバルな物流サービス、重量物から軽量品、さらには精密機器まで最適な梱包サービスの他にも、複写業務、3D・2D-CADによる設計業務、文具販売、介護・保育サポート等々あらゆる分野でお客様に貢献します。

インタビュー

■ 障がい者の雇用の経緯について ■

障がい者雇用推進のきっかけは、2011年に大幅な改正がされた障害者基本法です。

当時、企業として社会貢献や地域貢献のあり方を改めて考える機会があり、社内で障がい者雇用について議論したところ、特別支援学校から職業体験実習のお話をいただいたことが大きな転機となりました。これをきっかけに、障がいのある方やそのご家族が安心して働ける環境を整えたいという思いが強まり、実際に雇用へ踏み切る決断につながりました。採用にあたっては、ハローワークの障害者ミニ面接会、東・北はりま障害者合同就職面接会に参加し、面接や簡単なテストを通じて意思疎通での受け取り方や理解力などを確認しています。

これは、物流業務では業務指示の受け取り方の違いが事故やトラブルを引き起こす可能性があるため、安全確保の観点からも非常に重要なプロセスになり、公平性と適正なマッチングを重視した体制が整えられました。



株式会社 **リョーサン**

代表取締役社長
桂田 智生 さん



■ 障がい者への取り組み・課題について ■

入社時、配属部署で入社された方の社員紹介をする場合、身体障がいのある方の説明に関しては（事前にご本人の了解のもと、どのような紹介をすべきか事前打合せの上）、〇〇さんはこのような障害をお持ちですと、アナウンスしています。



知的障がい者及び精神障がい者は、このアナウンスをすることを殆どの方は好まず、紹介無しで進めた場合、その後の同僚間の会話で興味本位な質問を浴びせるなか窮地に陥る方は対応できなくなり、本人は差別発言されたと取りがちになります。差別発言を無くす難しさ感じます。

昨年、入社された方で就労支援B型へ戻られた方が1名発生しました。8時間勤務が困難で退職されました。適した作業環境の提示が間に合わなかったことが今後の課題です。

■ 雇用環境管理 サポート体制について ■

仕事の継続が難しくなる背景には、人間関係の不安定さ、体調や体力の変動、作業内容との相性など、さまざまな要因があります。

特に、作業内容やペースがその人の特性に合わない場合は、負担が蓄積し継続勤務に影響が出る場合があります。



これまで入社後数か月で退社される方が多くあり、防止を図るため、ホットラインの案内をしています。また出来るだけ困ったことの有無などの声掛けを心掛けています。

障がい者に限ったことではありませんが、受けた場合、話の中にメッセージや何に戸惑いが潜んでいるかを受け取る努力が必要です。

どのような言葉を受け、どのような感情になったか？可能な限り聞き取ります。ご本人の考え（誰かの発言でどうとらえたか・感じたか？）を聞いたのちに、人格否定することなく攻撃性の無い会話が大切です。

作業環境については、安全衛生委員会の活動の中で見直しを図っています。

■ 障がい者のお仕事について ■

木箱のベース部の準備、固定作業・梱包作業、パソコンで出荷ラベルの出票・ラベルの貼付け作業などを行っています。

■ 今後、障がい者を 雇用する企業様へ ■

障がい者の採用では、業務遂行能力と配慮事項の確認を行い、配属先の環境確認・整備、勤務時間の調整が大切であると思います。また、継続して勤務していただくにはハローワークや支援機関との連携も検討の余地があるのかもしれませんが。

企業が本気で取り組まなければ、社会は何も変わりません。障がいのある方々は、適切な環境が整えば、会社にとって必要な人材であり、大きな戦力にもつながります。

障がい者インタビュー

2017年4月1日に入社しました。今年で9年目になります。

県立播磨特別支援学校の時にこちらでの実習を通じて、自分にも仕事内容が合っていると思い、その旨を先生にお知らせして、こちらの会社での試験に合格して、卒業後に入社しました。

梱包作業では発送商品の種類も多く、各サプライヤー様の取扱商品の新旧品入れ替えが頻繁にあり、対応には難しさを感じますが梱包作業にはやりがいを感じています。

今は休日を利用して野球に打ち込んでいて、全国から選りすぐりの障がい者が名古屋ドームに集う世界大会があります。今回は、そのメンバーに抜擢されたので、日頃の力を発揮できるように精一杯頑張って上位を目指します。会社の方々も応援してくれているので、良い結果を残し会社に恩返しがしたいです。

仕事面では事故・怪我などがないように緊張感をもち、自分自身が社会人として成長できるように仕事を頑張ろうと思います。



中小路 昇大さん